

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本メディカル福祉専門学校は、平成28年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、平成29年6月17日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

平成29年6月20日

学校法人瓶井学園

日本メディカル福祉専門学校

学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属
岡本 高博	社会福祉法人 西成区社会福祉協議会 本校卒業生
北野 暢隆	社会福祉法人若葉会保育園こどものくに 園長
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長、 元大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校 学校長
堀川 茂野	日本メディカル福祉専門学校 教務部長
中道 和則	日本メディカル福祉専門学校 教務課長心得
山口 由起子	日本メディカル福祉専門学校

2. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 保護者懇談会を平日の設定では保護者が仕事の都合で時間が取れないこともあり、学生に何かあった時に、密に連絡を取るようになっている。
(2)学校運営	「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 適宜見直す必要があるため、今後も学校関係者評価委員会において、公開項目の検討を重ねるとの方針が決定した。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 事務側と教務側で意見交換を行い、今まで以上に連携をとってスムーズに業務の効率化が行えている。
(3)教育活動	「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラム教育方法の工夫・開発などが実施されているか」という点について 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか」という点についてはほぼ適切という意見

	<p>となった。</p> <p>臨床工学科とこども福祉学科に関しては、カリキュラムは厚生労働省の定めによるもので既存の補佐的な役割としての実習となる。</p> <p>臨床工学科：正規カリキュラム以外の特別講義を実施した。昨年度実施の同窓会でつながりができ、複数の特別講義は卒業生に依頼した。臨床工学科は特別講義を広げていくとともに、臨床実習前に卒業生のいるクリニックにて患者さん対応についての模擬実習を行った。今後も継続して行う。</p> <p>こども福祉学科：カリキュラムとは別に関連施設での実習を行っている。</p> <p>「関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか」という点について</p> <p>臨床工学科・こども福祉学科：出遅れている部分がある。大阪府が行う産学接続コースに両科共に申請を行い認定された。</p> <p>「職員の能力開発のための研修等が行われているか」という点について</p> <p>臨床工学科：勉強会、セミナー等参加しているが、大阪府臨床工学技士会のセミナーについては、免許取得者には参加費用が経済的で行きやすいが、免許を有していないと参加費がかさむ為、参加した講師によるフィードバックで対応している状況。卒業生の集まりにも情報収集のため、参加している。</p> <p>こども福祉学科：逐次職員が研修に参加して能力の向上を図り、研修後は学内で研修の報告会を実施し、研修に参加しない職員の能力についても向上を行っている。</p>
(4)学修成果	<p>「就職率の向上は図られているか」については</p> <p>臨床工学科：就職先未決定者がいる。今年の実験合格率は全国平均は昨年より上がり、本校は下がったという現状がある。全国の学校の卒業生が3月に一斉に就職活動をおこなったため、その影響がでている。</p> <p>「資格取得率の向上が図られているか」については</p> <p>臨床工学科：臨床工学士国家試験の合格率が下がった。不合格者は週3回彼ら対象の授業を行って、9月のME検定試験合格を目指して勉強するなどのフォローをしている。</p> <p>「退学率の低減が図られているか」という点について</p> <p>臨床工学科：退学率はほぼ変化なし。学生の目線にばかり合わせると勉強しなくなり、厳しすぎると退学するなど兼ね合いが難しい。また、授業料が払えなくて退学する人もいる。</p> <p>こども福祉学科：退学率は下がった。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」という点については臨床工学科：一部の卒業生とはやりとりがあるが、1000名を超える卒業生がおり、同窓会組織でも繋がれない学年がある。</p> <p>こども福祉学科：平成28年度卒業生全員が希望職種に就職できた。</p>
(5)学生支援	<p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p>

	今年度から、保護者説明会や電話連絡などで連絡を密にとり、保護者との連携の場を作っていくとの方針が決定した。また身体の健康については健康診断を行っているが、精神的な病を患っている学生に対する対応に苦慮している。
(6)教育環境	「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」、「防災に対する体制は整備されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 訓練の実施回数が少ないので回数を増やしていくとの方針が決定した。
(7)学生の受入れ募集	特に問題なし。
(8)財務	特に問題なし。
(9)法令等の遵守	「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」、「自己評価結果を公開しているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 平成26年度は、ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行った。
(10)社会貢献・地域貢献	特に問題なし。
(11)国際交流	「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 学習成果が国内外に伝わるよう、ホームページを充実させ、情報発信を強化するとの方針が決定した。